



平成 14 年 2 月 13 日

東京都文京区長

煙 山 力 様

社団法人 日本建築家協会 関東甲信越支部
支部長 服部 範 二
保存問題委員会委員長 篠田 義 男



旧同潤会大塚女子アパートメントの保存に関する要望書

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より、本協会の活動に多大なご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、貴区に存在するこの旧同潤会大塚女子アパートメントは、改めて申し上げるまでもなく、(財)同潤会の代表的作品の一つであり、一連の同潤会建築の中で唯一女性専用のアパートとして建てられたものであり、我が国の女性史のうえでも非常に重要な位置を占めている建築物であります。

緑溢れる中庭との積極的な連携を考慮した 1 階の応接室、パーゴラを架ける事により空間のヒエラルキーと連続感を見事に、そして心地よく表現している屋上と開放感溢れるサンルームなど、既にアメニティや空間の連続性に対する意識を強く感じさせる、時代を先取りした先進的なアパートメントハウスとして、我が国の近代建築史の一ページを飾る重要な建物であり、文京区の街並を飾る重要な建築物であるものとも思われます。

他の多くの同潤会アパートが既に解体されてしまった今となつては、昭和初期の思想・技術を今日に伝える貴重な文化遺産として、その存在価値はますます高まっていると申せましょう。この証左として、オランダに本部を置く国際組織 DOCOMOMO の要請を受けて、1999 年に(社)日本建築学会が選定した 20 件の日本のモダニズム建築の一つとして、他の現存する同潤会アパート共々選定されていることは、既にご案内の通りです。

幸いなことに、この旧同潤会大塚女子アパートメントは現在、東京都の管理のもとにありますが、解体して更地にされるものと伺い深い失望を感じております。既に完成から 70 年以上を経過し、各所にそれなりの傷みが発生し何らかの手を打たねばならない状況にあると推察いたしますが、補強改修によって十分に活用の道は開かれるものと考えます。

貴区の中でのこの建築物が持つ重要な意味を踏まえ、この建物の社会的価値を顕彰し、永く次世代に伝えていくために、是非、貴区のイニシアティブで保存・活用を前提に東京都に対し様々な意見を表明して頂くよう御検討いただきたく、ここに要望書を提出させていただきます次第です。

旧大塚女子アパートメントの保存・活用により、区の建築行政・街づくりへの区民の理解をより一層深め得るものと存じ、よろしくご高配のほどお願い申し上げます。

尚、(社)日本建築家協会 関東甲信越支部並びに保存問題委員会は、同建物の保存・活用に関し、可能な限りの協力、提案をさせていただき所存であることを申し添えます。